

野菜 de しあわせ

①



今回から、隔月で渥美半島産の農産物の魅力をベジエール渥美がご紹介します。

ベジエール渥美は、渥美半島の農産物の魅力を発信する応援隊として、平成26年4月に発足した団体です。会員はジュニア野菜ソムリエ以上の資格を持っています。

◆ベジエール渥美の活動

現在、一番力を入れているのは、小中学校や保育園などでの食育講座や、各種イベントへの食育コーナー出展です。

保育園での食育講座では、絵本の読み聞かせや、野菜クイズなどを行っています。ベジエール渥美の名誉会長キャベゾウとのふれあいは子



●読み聞かせ

どもたちに大人気です。

食育コーナーでは、大人1日分の野菜の目標摂取量350gをピッタリあてるゲームや、においあて、野菜カードの神経衰弱などを行っています。

食育活動においては、渥美半島の野菜の魅力やおいしさを伝え、身近な野菜・果物について、大人も子どもも楽しく学び、食や農業への関心を高めてもらえるよう心掛けています。

このほかに渥美半島産農産物の販売、PR活動やレシピ紹介なども行っています。より多くの方に渥美半島の農産物を知ってもらい、新鮮な農産物が身近にある幸せを感じてもらいたいです。

▼農政課

☎ 23局 3517 FAX 22局 3817



●畑での食育講座

キャベツ・からいんの渥美半島きらり☆ゆるさんぽ

6



渥美半島☆観光大使のキャベツとかいくんが、きらりっ！と光る田原市の観光資源をご紹介します。

今回は、いのりの磯道に建てられた磯丸の銅像をご紹介します。



★伊良湖の歌人糟谷磯丸

磯丸は伊良湖町の漁師の家に生まれ、文字を書くことができませんでしたが、旅人たちが口ずさむ歌に不思議な魅力を感じ、努力して文字を覚え、歌を書くようになりました。

生涯で数多くの歌を作り、その中でも人々の願いや困りごとなどを心を込めて歌にしたまじない歌が有名です。この歌を掛け軸にして床の間に掛けると不思議とその願いがかなったといわれています。

人々は、85歳で生涯を終えた磯丸を神様としてまつりました。

昨年11月に、生誕250年記念式典が行われ、5月3日に、伊良湖道

の駅クリスタルポルトの西側に銅像が建てられました。

★いのりの磯道

磯丸の銅像が建てられたすぐそばには伊良湖岬灯台へ続くいのりの磯道があり、そこには磯丸の歌碑が並んでいます。また、恋愛パワースポットにもなっており、「二人の恋が結ばれるように」との願いが込められた歌碑の前で願いをかけると恋がかなうといわれています。

ご紹介した糟谷磯丸のほかにも田原市には渡辺崋山など有名な偉人がいます。身近な歴史に一度触れてみてはいかがでしょうか。

◎キャベツとかいくんのホームページもよろしくカイ。

☎ <http://www.city.tahara.aichi.jp/kankotai-shi/>

▼商工観光課

☎ 23局 3522 FAX 22局 3817



●いのりの磯道